

Press Release

Evelo Bioscience と Abdul Latif Jameel Health、17 億人に及ぶ新興国市場において、炎症性疾患・COVID-19 の新治療法 EDP1815 の開発・商品化のため、戦略的業務提携を発表

2021 年 3 月 23 日

新しい経口薬を開発し、臨床段階にあるバイオテクノロジー企業 Evelo Bioscience (エベロ・バイオサイエンス、以下、Evelo) (NASDAQ:EVLO)と、低価格医療の迅速な供給と世界各国の新興国市場において医療ニーズを提供する [Abdul Latif Jameel Health](#) (アブドゥル・ラティフ・ジャミール・ヘルス)、ならびに本社 [Abdul Latif Jameel](#) (アブドゥル・ラティフ・ジャミール)は、中東・トルコ・北アフリカで Evelo の炎症性疾患用の医薬品 EDP1815 を開発・商品化するため、戦略的業務提携契約を締結しました。

EDP1815 は、炎症性疾患の治療用に開発中の経口薬です。昨今、Evelo は、アトピー性皮膚炎における EDP1815 について、有効性のあるフェーズ 1b データを報告しました。また、Evelo は、乾癬における EDP1815 のフェーズ 2 臨床試験を実施しており、さらに COVID-19 の入院患者における 2 つの臨床試験を実施しています。EDP1815 のフェーズ 1b 臨床試験のデータは、世界中のあらゆる炎症性疾患患者の治療に、安全性が高く、低価格な経口薬であるという可能性を示唆しています。Evelo と Abdul Latif Jameel Health は共に、新興国の急速な人口増加や経済成長において、医療へのアクセスの深刻な格差を是正していきます。アフリカの人口は 2030 年に 17 億人、2050 年に 25 億人に達すると予測されており、年間支出は 2030 年に 6.66 兆米ドルに達し、ヘルスケア市場の急成長が見込まれています。一方で、医療格差の大きな地域では、医薬品を服用できる人口は少なく、サハラ以南のアフリカにおいては、22%に留まっています。

Evelo の CEO、[シンバ・ギル](#)博士は、「*Abdul Latif Jameel Health と治療バイオテクノロジーにおいて、業務提携契約を締結できたことを光栄に思っています。私は、Abdul Latif Jameel Health の CEO である [アクラム・ブシエンキ](#) と 20 年以上一緒に仕事をしてきました。彼は、前職 Gilead (ギリアド) 在職中に、アフリカで事業構築や開発など多くを手がけました。アクラムのリーダーシップと、Abdul Latif Jameel Health の中東・トルコ・北アフリカの幅広いネットワークと専門性を活かし、炎症性疾患に苦しむ何億人もの患者のために薬を開発・商品化するという当社の目標を達成する最適なパートナーです。*」と述べています。

2020 年に [75 周年](#)を迎えた Abdul Latif Jameel は、中東・トルコ・北アフリカに深く根ざし、6 大陸にわたり、多くの事業を展開しています。Abdul Latif Jameel は、アフリカに関する幅広い専門知識を持ち、困窮しているすべての人々に効果的かつ低価格な医薬品の継続的な供給に取り組んでいます。

Evelo は、その医薬品を開発・商品化するため、Abdul Latif Jameel Health 初のバイオテクノロジー分野でのパートナーであり、Abdul Latif Jameel Health は Evelo のビジョンの実現のため、重要なリソースを提供します。

Abdul Latif Jameel Health の CEO、アクラム・ブシエナキは、「私たちは、Evelo との協業を通し、新興国の何百万もの人々に医薬品を供給できることを非常に嬉しく思います。急成長中であるアフリカにおいて、医療事業を開始でき、炎症性疾患の医薬品の開発をしている Evelo、そして長年共に同じ道を歩んできたシンバ博士が、パートナーであることを誇りに思います。」と述べています。

Abdul Latif Jameel の社長代理兼副会長の[フアディ・ジャミール](#)もコメントを発表しました。科学とテクノロジーによるソリューションを提供し、ファミリーの理念を反映した組織 Community Jameel を通じて、MIT の[Jameel Clinic](#) や Imperial College London の[Jameel Institute](#) を共同設立しています。

「医療へのアクセスは、人々が住んでいる地域や経済、手段に関係なく、水と同様、紛れもない基本的な人権と考えるべきです。複雑な問題ですが、Abdul Latif Jameel Health は Evelo のような世界をリードするバイオテクノロジーの技術力を持つ企業と協力し、問題解決のためのソリューションを提供していきます。」

戦略的業務提携について

本契約に基づき、Evelo は EDP1815 の開発と製造、Abdul Latif Jameel Health は中東・トルコ・北アフリカ当局への実務業務と商品化を担います。Evelo と Abdul Latif Jameel Health は、50%:50%の利益分配の協定を締結しています。

EDP1815 について

EDP1815 は、炎症性疾患の治療用に開発中の経口薬です。プリヴォテラ科の腸内細菌 *Prevotella histicola* の菌株の不活化製剤であり、その経口投与後に腸に全身的薬理効果をもたらすことができる可能性があります。不活性であるため、腸内への定着や微生物叢の副作用もありません。前臨床試験では、EDP1815 は複数の炎症経路をカバーするモデルにおいて抗炎症作用を呈しました。フェーズ 1b 臨床試験における 5 つの臨床結果は、Th1、Th2、および Th17 を介した炎症に対応する EDP1815 の可能性を裏付けました。

EDP1815 のフェーズ 1b 臨床試験の乾癬コホートでは、この製品候補は、炎症性疾患の患者における潜在的に有害な影響の既知のメディエータである IL-6、IL-8、TNF、および IL-1 を含む複数の炎症性サイトカインを抑制します。これまでの前臨床試験および臨床データは、EDP1815 が免疫抑制を誘発することがないことを示しました。5 これまでの臨床研究で EDP181 の有効性と忍容性を確認することができました。

Evelo Bioscience について

Evelo Biosciences は、小腸の軸である SINTAX™に作用し、全身の治療に有効な経口薬を開発しています。SINTAX は、

免疫系、代謝系、および神経系の調整において有効です。同社初の製品は、薬理学的特性がある微生物の単一菌株の製剤です。

Evelo は現在、炎症性疾患治療用の EDP1815、EDP1867、および EDP2939、ならびに癌治療用の EDP1908 の 4 つの製品などを開発中です。

詳細については、www.evelobio.com、および Evelo の [LinkedIn](#) や [ビデオ](#) をご覧ください。

連絡先: ジェシカ・コトロン (Jessica Cotrone)、+1-978-760-5622、jcotrone@evelobio.com

Abdul Latif Jameel Health について

本社 [Abdul Latif Jameel](#) は、75 年の伝統、幅広いグローバルネットワークを持ち、6 大陸 30 か国で事業を展開しています。Abdul Latif Jameel Health は、主にヘルスケア・医療分野の事業体です。

[Abdul Latif Jameel Health](#) は、世界の変革のための科学とテクノロジーによるソリューションを提供する組織 [Community Jameel](#) を通し、ジャミール・ファミリーの理念を反映した事業を行っています。Community Jameel と [MIT](#) は、2018 年 9 月に Abdul Latif Jameel Clinic for Machine Learning in Health ([Jameel Clinic](#)) を共同設立し、MIT での人工知能と医療の中核となりました。さらに、2019 年 10 月には [Imperial College London](#) と Abdul Latif Jameel Institute for Disease and Emergency Analytics ([Jameel Institute](#)) を共同設立し、最近の COVID-19 パンデミックを含む予防可能な疾患に対し、新興国において医療システムを強化するため、最新のデータ分析をしています。

Abdul Latif Jameel Health は、より良い明日のために、ニーズを把握し、ソリューションを提供してきます。新興国のヘルスケアに焦点を当て、ソリューションを提供するため、新市場を開拓・成長させ、メドテック分野に参入することにより、医療を必要とする人々へ迅速に対応していきます。

詳細については、<https://aljhealth.com>、および [こちらから](#) 当社ビデオをご覧ください。

Abdul Latif Jameel について

[Abdul Latif Jameel](#) は、2020 年に 75 周年を迎えたグローバル企業であり、世界各国でビジネスを展開しています。主に、乗用車、商用車、建機、ロジスティクス、エンジニアリング・製造、金融サービス、エネルギー・環境サービス、ヘルスケア、不動産、消費者向け製品、広告、メディアなどの事業を行っております。画期的で飛躍的なテクノロジーを開発しているベンチャー企業と積極的に協業し、フィンテック、インシュアテック、電気自動車、未来のモビリティソリューションなどの最新のテクノロジーに加えて、医薬品やワクチン、最先端の医療テクノロジーに至るまで、医療・ヘルスケア事業を展開し社会に積極的に貢献していきます。

グローバルなネットワークとパートナー企業との長年の関係構築により、Abdul Latif Jameel は世界でも有数のグローバル企業として成長しました。現在、6 大陸 30 か国以上の拠点で、11,000 人以上を雇用しています。

詳細については、<https://alj.com> をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法の意味の範囲内での将来の見通しに関する記述が含まれています。本プレスリリースに含まれる歴史的事実の事柄に関係のないすべての記述は、EDP1815 に関する臨床試験や読み出しの結果、当社の開発計画、および当社の製品候補の約束と潜在的な影響に関する記述を含む、将来の見通しに関する記述と見なす必要があります。

これらの将来の見通しに関する記述は、経営陣の現在の期待に基づくものです。これらの記述は約束や保証のいずれでもなく、既知または未知のリスク、および重要な将来の見通しに関する記述によって明示的または暗示的に示される将来の結果、業績、または達成とは実質的に異なる実際の結果、業績、

または達成を引き起こす可能性のあるその他の重要な要因が関与し、それには以下のものが含まれます(ただし、これらに限定されません)。当社の前臨床試験および臨床試験を含む当社の事業、ならびに当社事業の継続性に影響を与える COVID-19 の影響、現在利益を上げておらず利益を上げることはないものから当社が負った大幅な損失、当社の追加資金の必要性、当社の限られた運用歴、治療的介入に対する当社の証明されていないアプローチ、規制当局の承認の潜在的な遅延を含む、臨床薬剤開発の長く、費用がかかる、不確実なプロセス、当社の微生物ライブラリーの拡張、臨床試験の実施、製品候補の製造、および承認された場合の製品候補の開発と商品化を第三者および協力者に依存していること、当社の製品候補の製造、販売、マーケティング、および流通における当社の経験不足、他の製薬会社との競争での失敗、企業秘密の秘密保持や専有技術の保護、第三者の知的財産の侵害または当社の知的財産の所有権に対する異議申し立てに対する潜在的な訴訟または請求、当社の特許の無効または執行不能の判定、国際事業に関連するリスク、主要人員を確保し成長を管理する当社の能力、共通株式の潜在的な変動性、当社の経営陣と主要株主が保持する当社事業を管理する能力および重大な影響力を与える能力、公開企業として事業を行うためのコストおよびリリース、不利またはアナリストの調査や報告がないこと、当社に対する証券集団訴訟。

2020 年 12 月 31 日終了の会計年度の Form 10-K の年次報告書の「リスク要因」のキャプションで説明されているこれらおよびその他の重要な要因、および SEC に提出されたその他の報告書により、実際の結果がこのプレスリリースで行われた将来の見通しに関する記述で示されたものと大幅に異なる可能性があります。そのような将来の見通しに関する記述は、本プレスリリースの日付時点での経営陣の推定を表しています。将来のある時点でそのような将来の見通しに関する記述の更新を選択する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、その後の出来事により当社の見解が変更された場合でも、更新する義務を負いません。これらの将来の見通しに関する記述は、本プレスリリースの日付より後の日付時点での当社の見解を表すものとして信頼すべきではありません。